

矢部市（9/8）、京都府京都市（9/12）、広島県広島市（9/14）、福岡県福岡市（9/16）と7カ所で開催【OSR No.239：2016/08/03】

※ OSR・・・オンサイト・レポートの略

燃料に使う「ペレットコンロ」等もレンタル可能な商品として紹介【京都ペレット町家ヒノコ：2016/07/25】

<http://www.hibana.co.jp/kyoto-pellet/shop-hinoko/rental.html>

■ユーロキッチンかさい（〔有〕 河西〔神奈川〕）、PYROFIRTE（ピロファイヤー）社（イタリア）のペレットバーベキューグリル「ピロキャンピング PYROCAMPING」の発売開始。シンプルな構造で組み立て、調理、後片付け等が簡単。ステンレス製なので耐久力にも優れ、水洗いしても錆びにくいのが特徴。ペレット 2kg で約 2 時間の調理が可能。独自の燃焼システムにより燃焼効率が高いため、煙が出ず、灰もわずかしか残らないとのこと。重量は 15kg、本体価格 14 万円（税込）【ユーロキッチンかさい（〔有〕 河西〔神奈川〕）：2016/07/26】

<http://eurokitchen.jp/SHOP/PY00CAMPIN.html>

■長野県伊那市が木質バイオマスを利用した一般家庭の暖房の使用状況に関する調査結果を公表。調査は「自然エネルギーコンダクター」として活動する地域おこし協力隊の金子孝治氏が木質バイオマス暖房の普及に向けた基礎資料とするため実施。20 歳以上の市民 2,000 人に郵送でアンケートを行い、892 人から回答を得た。ペレットストーブについては 84.5%が「知っていた」「聞いたことがある」と回答。しかし利用率は薪ストーブが 8.3%、ペレットストーブが 0.3%で薪ストーブは一定の普及が進む一方、ペレットストーブの利用者は極めて少ないことが分かった。市は今回の調査結果を基に一層の普及に取り組んでいく方針【長野日報：2016/08/01】

<http://www.nagano-np.co.jp/articles/6388>

■ベトナムの Phu Yen 省の Bao Chau 社、Dong Bac Song Cau 工業団地で輸出用木材加工場の操業開始。第 1 期に 450 億ドン（約 205 万ドル）を投じ、輸出用ウッドチップを生産する。2017 年の第 2 期には、より輸出価値の高い木質ペレットの生産に拡大する。ウッドチップ工場は生産能力 36t/時、10 万 t/年、木質ペレット工場も 10 万 t/年。日本に輸出するほか、韓国や米国といった潜在市場にも輸出する。ハノイ国民経済大学や Bureau Veritas、韓国の大学などと協力し、商品多様化に向けて技術獲得を図る【HOTNAM！News：2016/08/02】

<http://www.hotnam.com/news/160802040033.html>

■（有）シモタニ（岐阜）、今秋同社ストーブ「コンコード・オルコット」現行モデルのマイナーチェンジと「EM II（イーエムツー）」と名付けられた新作モデルを発表予定。特約店などが対象の毎年恒例の販売店会議に併せて行う。イベント名は「シモタニ新商品発表会」。北海道北見市（8/25）を皮切りに、同札幌市（8/26）、東京都青梅市（9/2）、富山県小

◎ ペレット関連情報

■ (株) WPPC (新潟)、2012年に発売して1,000台超の売上げを記録したアウトドア用多機能グリルヒーター KIRINSAN (きりんさん) のニューモデルを9月30日に発売予定。クラウドファンディングサイト「READYFOR?」で目標金額100万円のプロジェクトを開始したところ、初日に達成。新たに開発された「RAKUDASAN (らくださん)」は、①“おなか部分”の特製オーブンで約500度の高温がキープできるため、ピザやバケットが焼けるだけでなくホイルに包んだ食材を温めることも可能②使用時は全長1.5mの高さになるが、収納時は1/5のコンパクトサイズになり、持ち運びが便利③木質ペレットだけでなく薪等でも火つけが可能、といった特徴が加わった。カラーは全4色、価格は35,000円(税抜)の予定【Value Press!:2016/07/13】

<https://www.value-press.com/pressrelease/165998>

■ 佐賀県唐津市、同市佐志にPKS燃料のバイオマス発電所を造る合同会社「Innocent Biomass Power (イノセントバイオマスパワー)」と進出協定を締結。同社は畜産関連事業と国内外で太陽光発電事業を手掛ける「イノセント」(宮崎県都城市)の関連会社。発電所の出力は2万5,000kWで、市内全世帯を上回る5万世帯分の電力を生み出す計画。燃料のPKSはインドネシアなどから調達し、木質ペレットの輸入も考えている。約95億円かけて建設し、2019年7月に営業運転開始。九州電力への売電収入は年間44億円の見込み【佐賀新聞LIVE:2016/07/16】

<http://www.saga-s.co.jp/news/saga/10101/334434>

■ (株) 風土社(東京)、環境・風土と共生する木の家づくりと暮らしの知恵を取り上げる雑誌「チルチンびと」の「薪ストーブ読本」を7月16日より発売。薪ストーブに関する特集だけでなく、「ペレットストーブ豆知識・ペレットストーブカタログ」も掲載。定価は本体1,800円(税抜)【チルチンびと広場:2016/07/16】

<http://www.chilchinbito-hiroba.jp/column/people/?p=983>

■ 京都ペレット町家ヒノコ(京都)、「ハハソ(柞:hahaso)」のレンタルを開始。ハハソは能登半島産の珪藻土でできた炭一本用の超小型火鉢で、お湯を沸かしたり食べ物を焼いたりできる。その他、ウェブサイトの「火の道具レンタル」のページでは、木質ペレットを